

第6回薄膜太陽電池セミナー

第6回薄膜太陽電池セミナーを、広島大学・広仁会館にて開催いたします。本セミナーは産官学の研究者、技術者が一堂に会して、薄膜太陽電池の基礎から応用までを集中的に議論する年に1回のセミナーです。本セミナーは“アモルファスセミナー”をルーツに持ち、約40年もの歴史をもっています。本セミナーは薄膜太陽電池に関する様々な材料を用いたアプローチやそのデバイス・システムについて、学生から専門の方、他分野の方にも理解できるようにプログラムを工夫しています。

今回は、本分野を代表する錚々たる方々に講演をしていただくとともに、ポスターセッションを通して、多様な観点から知識を得る機会を作りました。最先端の研究開発動向を把握するのみならず、チュートリアル等を通して、基礎から学べる素晴らしい機会ですので、多くの研究者・技術者・大学院生、さらには ビジネスやイノベーションを探索されている方などの参加をお待ちしております。

日程：2014年10月15日（水）、16日（木）

場所：広島大学・広仁会館（JR広島駅南口より バスで20分）

セミナーホームページ：http://6th-thin-film-pv-seminar.hiroshima-u.ac.jp/

ポスター発表申し込み締め切り 9月12日（金）（学生の投稿大歓迎です。）

10月15日（水）ペロブスカイトと色素増感型太陽電池

チュートリアル：宮坂 力（桐蔭横浜大学）「ペロブスカイト太陽電池の技術動向と高効率化開発」

チュートリアル：水元 克芳（アイシン精機）「実用化に向けた色素増感太陽電池の開発」

招待講演：伊藤 省吾（兵庫県立大）「ペロブスカイト太陽電池と無機正孔輸送材料の最前線」

若手研究者の挑戦：ポスター発表から2報選出

ポスター発表（発表の中から優秀な論文を選び、ポスターアワードを授与します）

意見交換会

10月16日（木）薄膜太陽電池・TOPICS

基調講演：桑野 幸徳（太陽光発電技術研究組合）

「薄膜材料デバイスの将来に期待する！—アモルファスSi太陽電池、HIT太陽電池の研究開発、実用までの苦難の道—」

招待講演：櫛屋 勝巳（昭和シェル石油・ソーラーフロンティア）「CIS系薄膜太陽電池技術の現状と将来展望」

招待講演：大関 崇（産業技術総合研究所）「太陽光発電のシステム技術に関する現状と課題」

招待講演：馬 廷麗（九州工業大学）「ナノ機能材料の開発及び次世代薄膜太陽電池への応用」

招待講演：池田 直（岡山大学）「電荷秩序型酸化鉄太陽電池研究」

招待講演：小林 英治（長州産業）「ヘテロ接合太陽電池の量産化技術と最新の技術動向」

Special talk：近藤 道雄（産業技術総合研究所）「太陽電池、太陽光発電から太陽光社会に向けた研究開発」

事前 参加費（9月12日まで）：

一般 12,000円

学振175委員会会員 7,000円

応用物理学会中国四国支部会員 8000円

協賛会会員 10,000円、学生2,000円

意見交換会費：

3,000円

参加費 9月13日以降（当日含む）：

一般 16,000円

学振175委員会会員10,000円

応用物理学会中国四国支部会員11,000円

協賛会会員 13,000円、学生4,000円

主催：第6回薄膜太陽電池セミナー組織委員会

共催：応用物理学会中国四国支部

日本学術振興会 産学協力研究委員会「次世代の太陽電池発電システム175委員会」

協賛：応用物理学会、日本物理学会、高分子学会、電気化学会、電気学会、日本化学会、日本セラミックス協会

組織委員長：近藤 道雄（産業技術総合研究所）

実行委員長：東 清一郎（広島大学）、副実行委員長：伊藤 貴司（岐阜大学）

問い合わせ先：第6回薄膜太陽電池セミナー実行委員会・事務局

e-mail: exective@6th-thin-film-pv-seminar.hiroshima-u.ac.jp